

## 各指定校における「いじめ未然防止プログラム」の特徴【小学校】

学校名	特 徴	該当ページ
美唄市立 峰延小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ピア・サポート活動を年間指導計画に意図的、計画的に位置付け、児童が相手の立場を考え、思いやりや感謝する心を育てています。</li> <li>●児童会（書記局・各委員会）が主体となる活動を年間を通じ、関連付けて実施することで、ねらいについて児童が理解し、主体的に活動できるよう、指導の工夫を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆6～7 頁</li> <li>■93～95 頁</li> </ul>
江別市立 野幌若葉小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「ふれあい集会」を中心とした、異学年、同学年の児童の交流活動を、意図的、計画的に学校行事の前に位置付けることにより、児童の思いやる心や協力し合う態度を育てています。</li> <li>●「聞く・話すルールの掲示」や「プラスの言葉・行動の掲示」をすることなど、望ましい人間関係を育むための指導を工夫しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆8～9 頁</li> <li>■96 頁</li> </ul>
小樽市立 潮見台小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●心と体の大切さを知り、自他を尊重する態度を育む「いのちの学習」を、養護教諭と連携を図り実施することにより、命の尊さや心身の健康の大切さに気付き、自他を尊重する心を育てています。</li> <li>●市の教育委員会の取組や専門性の高い講師、地域の人々を活用するなど、地域の教育力を活用する取組に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆10～11 頁</li> <li>■97 頁</li> </ul>
登別市立 幌別東小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童会を中心として、各専門委員会がいじめを防止する取組を行うことにより、いじめ防止に対する意識と実践力を高めるようにしています。</li> <li>●保護者による読み聞かせや、高齢者と触れ合う学習、学習ボランティアを積極的に取り入れ、様々な方の目で子どもたちを見守り、指導できるようにしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆12～13 頁</li> <li>■98 頁</li> </ul>
浦河町立 浦河小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童会が企画・運営する年間を通じた異学年交流を、意図的、計画的に行い、上級生が下級生のよき手本になろうとする意識を育てています。</li> <li>●いじめの未然防止に関わる内容を学校の道徳教育の重点目標に設定し、道徳の時間を要として、教育活動全体を通じた道徳教育の推進に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆14～15 頁</li> <li>■99 頁</li> </ul>
木古内町立 木古内小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●明るくあいさつができる子どもたちの育成を重点に取組を進めている。</li> <li>●年間を通して児童会によるあいさつ運動を行ったり、6年間の積み重ねを見通した教育相談の手法を生かした学級活動に取り組んだりしている。</li> <li>●PTAや地域との関わりを生かした取組も行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆16～17 頁</li> <li>■100 頁</li> </ul>
せたな町立 北檜山小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめの未然防止や早期発見・早期対応を図るために、「居場所づくり」「絆づくり」「環境づくり」を意識した「授業づくり」「集団づくり」における日常的な活動を基盤にするとともに、児童会、家庭や地域、人権教育や情報モラル教育等との関連を図った活動を意図的・計画的に進め、健全な人間関係を育む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆18～19 頁</li> <li>■101 頁</li> </ul>
美深町立 美深小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「異学年集団の活動を通して、協力し合う心や思いやりの心を育てる。」「それぞれの学年の発達の段階に応じた役割を果たす。」というねらいのもと、縦割り班活動を行っています。</li> <li>●研究内容を道徳として、道徳の時間や全教育活動を通じた道徳教育の推進に力を入れています。</li> <li>●地域との交流を大切に、地域の方と触れあう活動を多く取り入れています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆20～21 頁</li> <li>■102 頁</li> </ul>
天塩町立 天塩小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本校では、いじめ未然防止のため全教職員の共通理解のもと、些細なことでもホウレンソウを大切に取組んでいる。</li> <li>●年2回のいじめアンケートや生活のきまりチェックシート、Q-U検査、教育相談・個人懇談などを設定・実施し、いじめ未然防止に役立っている。また、児童が主体的に関わる活動（縦割り班活動やボランティア活動など）を通して、学年を越えた信頼関係づくりも行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆22～23 頁</li> <li>■103 頁</li> </ul>
枝幸町立 枝幸小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●狭い地域のため、幼（保）・小・中学校における人間関係が固定化しやすいことから、『縦割り班』を組織し、清掃活動や児童会活動など年間を通じて異年齢活動の機会を設定しています。</li> <li>●「ほっと」や「hyper-QU」の実施、毎日の放課後の打合せにおける情報交流などを通して、全教員が児童の実態の共通理解に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆24～25 頁</li> <li>■104～105 頁</li> </ul>
網走市立 中央小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童会活動を中心に、いじめの未然防止に取り組むことにより、児童自身がその意義や効果について考え、児童自らが積極的に活動に取り組もうとする意識を育てています。</li> <li>●学校行事をはじめ、清掃活動を異年齢集団で行ったり、ペア学年が隣り合うよう教室を配置したりすることにより、異年齢交流が促進するよう工夫を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆26～27 頁</li> <li>■106 頁</li> </ul>
幕別町立 古舞小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●それぞれの活動において、児童同士や地域の人々と児童が交流したり、自分の考えを発表したりする場面を意図的、計画的に設定することにより、コミュニケーション能力を育てています。</li> <li>●近隣の小学校や中学校との合同学習、地域の人々との交流を通して、児童が様々な考えや立場について理解できるよう、指導の工夫を図っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆28～29 頁</li> <li>■107 頁</li> </ul>
標茶町立 標茶小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「縦割り地区遊び」を年8回実施し、高学年は低学年の面倒をみる、低学年は高学年をお手本とするといった学年を超えた望ましい人間関係を築くことができるよう、指導の工夫を図っています。</li> <li>●児童会を中心とした全学年による「ありがとうボックス」の活動を通して、児童に、互いに相手のことを考えて行動することの大切さを理解させています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆30～31 頁</li> <li>■108～109 頁</li> </ul>
根室市立 花咲小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本校に児童会組織ができて5年が経ち、自分たちの学校を自分たちでよくしていくという考えが広がっており、いじめ未然防止の「絆づくり」（児童会活動）がメインの取組となっている。</li> <li>●また、構成的グループエンカウンター（SGE）を活用し、学級の肯定的な雰囲気づくりを目指している。校内研修でSGEや教育相談の活用方法、ほっと・アセスの分析などを行い、早期発見に努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆32～33 頁</li> <li>■110～111 頁</li> </ul>

【注】「特徴」は「年間の取組計画」から抜粋。「該当ページ」は上段(◆)「マトリクス」「年間の取組計画」、下段(■)「主な活動」